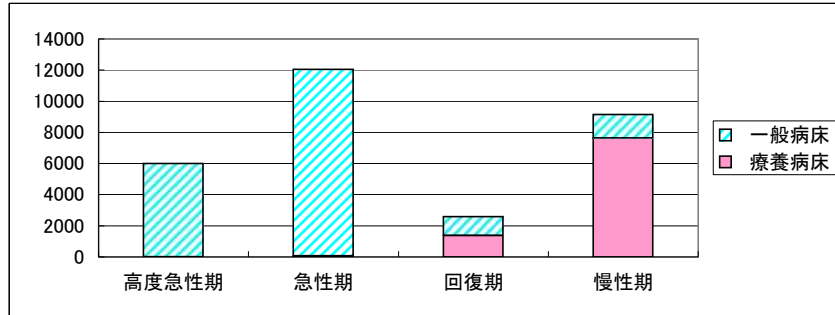


病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡県）】

《2014(平成26)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

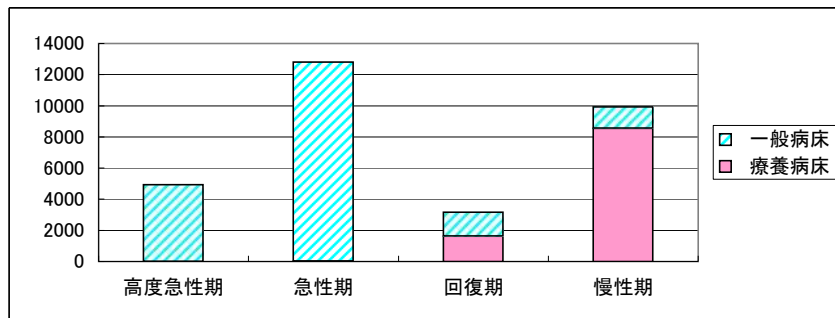


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	6,005	12,001	1,208	1,505	20,719
療養病床	0	54	1,373	7,637	9,064
合計	6,005	12,055	2,581	9,142	29,783
構成比	20.2%	40.5%	8.7%	30.7%	100.0%

(注)集計対象29,866床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が83床分あり、上表には含めていない。

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	4,936	12,804	1,552	1,380	20,672
療養病床	0	11	1,622	8,559	10,192
合計	4,936	12,815	3,174	9,939	30,864
構成比	16.0%	41.5%	10.3%	32.2%	100.0%

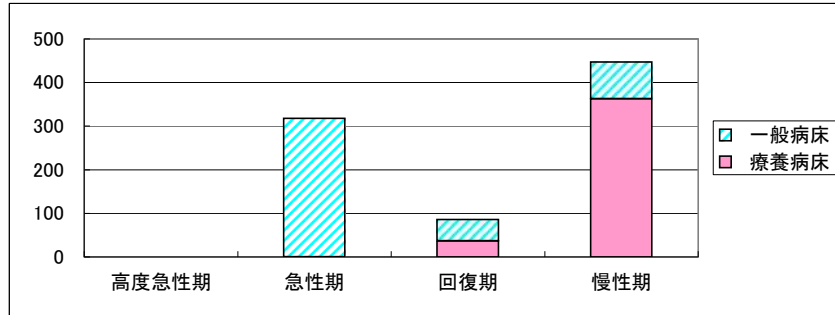
(注)集計対象30,985床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が121床分あり、上表には含めていない。

《2014年と2015年の比較》

・高度急性期の構成比が減少し、急性期、回復期、慢性期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（賀茂医療圏）】

《2014(平成26)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

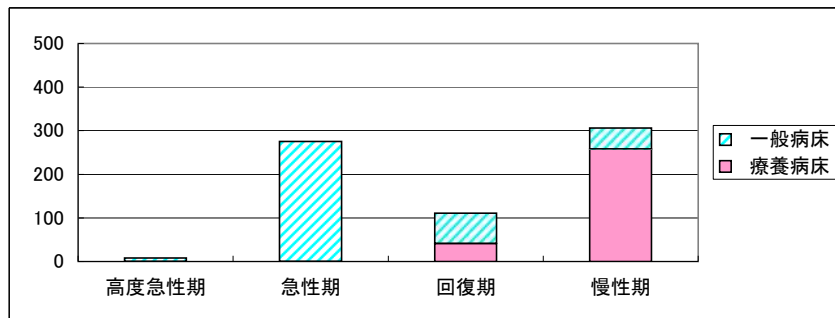


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	0	318	49	84	451
療養病床	0	0	37	363	400
合計	0	318	86	447	851
構成比	0.0%	37.4%	10.1%	52.5%	100.0%

(注)集計対象851床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	275	70	48	401
療養病床	0	0	41	258	299
合計	8	275	111	306	700
構成比	1.1%	39.3%	15.9%	43.7%	100.0%

(注)集計対象700床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

〈2014年と2015年の比較〉

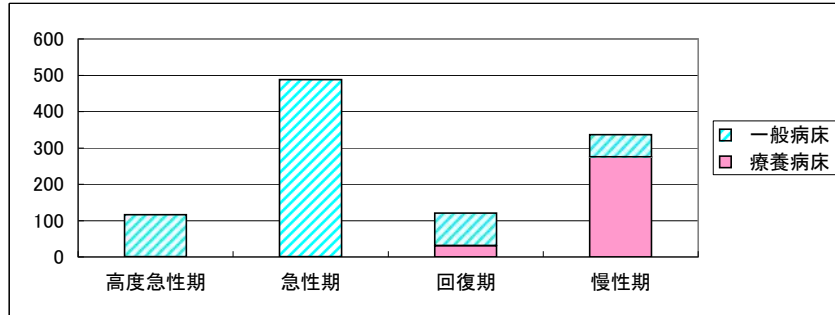
・慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加した。

・平成27年6月20日、医療法人社団慈広会県南病院が廃止(許可病床 療養107床)したことにより、集計対象病床数が減少し、慢性期の病床であったことから、慢性期の構成比が減少した。(慢性期 107床減)

※各機能における50床以上の変動がある病院を参考に記載

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（熱海伊東医療圏）】

《2014(平成26)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

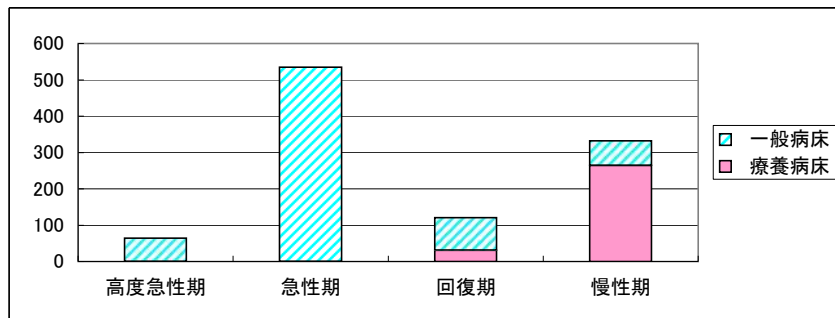


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	116	488	90	62	756
療養病床	0	0	31	275	306
合計	116	488	121	337	1,062
構成比	10.9%	46.0%	11.4%	31.7%	100.0%

(注)集計対象1,062床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	535	90	68	757
療養病床	0	0	31	264	295
合計	64	535	121	332	1,052
構成比	6.1%	50.9%	11.5%	31.6%	100.0%

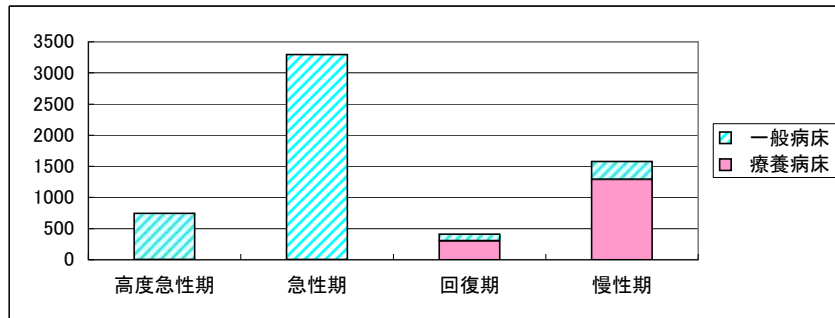
(注)集計対象1,052床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2014年と2015年の比較》

- ・高度急性期の構成比が減少し、急性期の構成比が増加した。
 - ・回復期、慢性期の構成比は、ほぼ同じであった。
 - ・国際医療福祉大学熱海病院が、「2014年:高度急性期 116床、急性期 116床、回復期 31床」から「2015年:高度急性期 4床、急性期 228床、回復期 31床」に変更(高度急性期 112床減、急性期 112床増)
- ※各機能における50床以上の変動がある病院を参考に記載

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（駿東田方医療圏）】

《2014(平成26)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

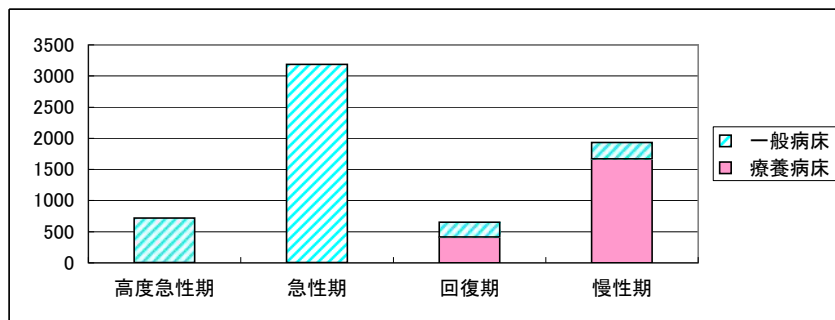


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	747	3,294	107	289	4,437
療養病床	0	0	303	1,288	1,591
合計	747	3,294	410	1,577	6,028
構成比	12.4%	54.6%	6.8%	26.2%	100.0%

(注)集計対象6,029床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が1床分あり、上表には含めていない。

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	721	3,189	238	269	4,417
療養病床	0	0	413	1,664	2,077
合計	721	3,189	651	1,933	6,494
構成比	11.1%	49.1%	10.0%	29.8%	100.0%

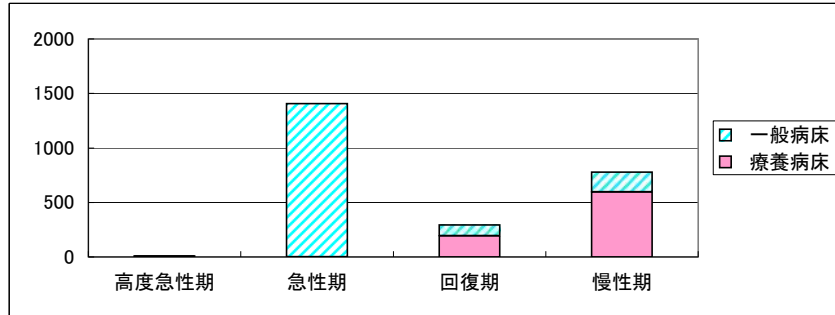
(注)集計対象6,508床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が14床分あり、上表には含めていない。

〈2014年と2015年の比較〉

- ・高度急性期、急性期の構成比が減少し、回復期、慢性期の構成比が増加した。
- ・三島共立病院が、「2014年:急性期 54床、慢性期 30床」から「2015年:回復期 84床」に変更(急性期 54床減、慢性期 30床減、回復期 84床増)
- ・中伊豆温泉病院が、「2014年:急性期 113床、回復期 137床」から「2015年:急性期 49床、回復期 185床」に変更(急性期 64床減、回復期 48床増)
- ・伊豆慶友病院が、「2014年:急性期 55床、慢性期 47床」から「2015年:回復期 55床、慢性期 47床」に変更(急性期 55床減、回復期 55床増)
- ・岡村記念病院が、「2014年:急性期 65床」から「2015年:高度急性期 65床」に変更(急性期 65床減、高度急性期 65床増)
- ・静岡医療センターが、「2014年:高度急性期 100床、急性期 280床」から「2015年:高度急性期 18床、急性期 362床」に変更(高度急性期 82床減、急性期 82床増)
- ※各機能における50床以上の変動がある病院を参考に記載
- ・2014年未反映であった富士山麓病院が、2015年は反映されている。(慢性期168床)
- ・2014年未反映であった農協共済中伊豆リハビリテーションセンターが、2015年は反映されている。(回復期110床)
- ・2014年未反映であった中島病院が、2015年は反映されている。(慢性期80床)
- ・2014年未反映であった長岡リハビリテーション病院が、2015年は反映されている。(慢性期54床)
- ・2014年未反映であった伊豆函南セントラル病院が、2015年は反映されている。(慢性期85床)
- ・2014年未反映であった池田病院が、2015年は反映されている。(慢性期37床)

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（富士医療圏）】

《2014(平成26)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

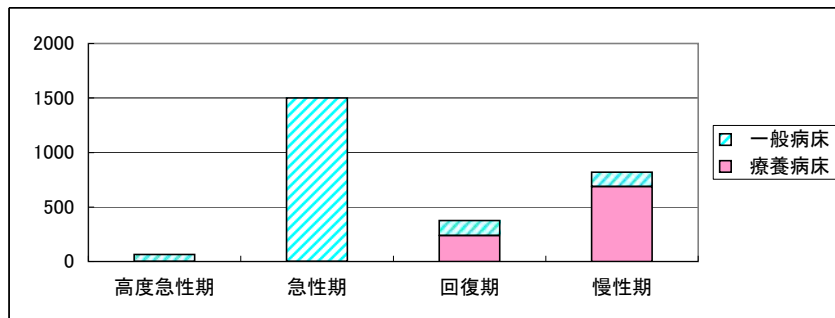


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	1,407	99	182	1,696
療養病床	0	0	194	595	789
合計	8	1,407	293	777	2,485
構成比	0.3%	56.6%	11.8%	31.3%	100.0%

(注)集計対象2,485床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	66	1,502	138	130	1,836
療養病床	0	0	237	688	925
合計	66	1,502	375	818	2,761
構成比	2.4%	54.4%	13.6%	29.6%	100.0%

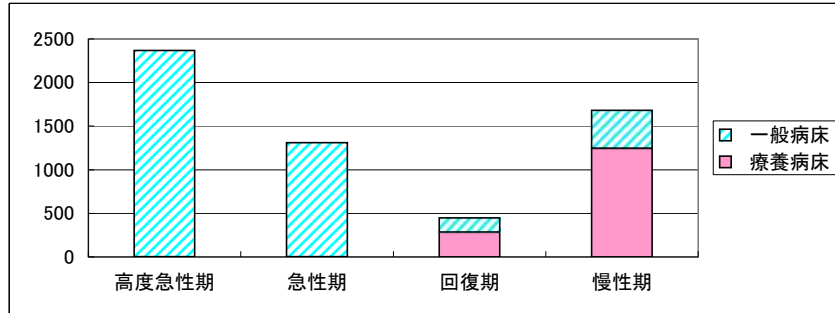
(注)集計対象2,761床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2014年と2015年の比較》

- ・急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加した。
- ・富士脳障害研究所附属病院が、「2014年:急性期 80床、回復期 45床、慢性期 35床」から「2015年:高度急性期 40床、急性期 40床、回復期 45床、慢性期 35床」に変更(急性期 40床減、高度急性期 40床増)
- ・新富士病院が、「2014年:慢性期 202床」から「回復期 52床、慢性期 154床」に変更(慢性期 48床減、回復期 52床増)
- ・富士いきいき病院が、「2014年:回復期 101床、慢性期 46床」から「2015年:回復期 144床、慢性期 53床」に変更(回復期 43床増、慢性期 7床増)
- ※各機能における50床以上の変動がある病院を参考に記載
(富士医療圏においては、増減理由に関わる40床以上の変動がある病院も参考に記載)
- ・2014年未反映であった共立蒲原総合病院が、2015年は反映されている。
(急性期 106床、回復期 37床、慢性期92床)

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡医療圏）】

《2014(平成26)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

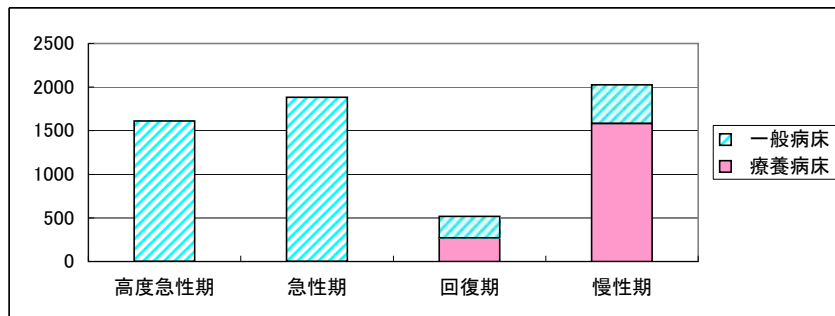


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	2,369	1,309	166	437	4,281
療養病床	0	0	283	1,245	1,528
合計	2,369	1,309	449	1,682	5,809
構成比	40.8%	22.5%	7.7%	29.0%	100.0%

(注)集計対象5,891床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が82床分あり、上表には含めていない。

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,610	1,885	252	444	4,191
療養病床	0	0	267	1,583	1,850
合計	1,610	1,885	519	2,027	6,041
構成比	26.7%	31.2%	8.6%	33.6%	100.0%

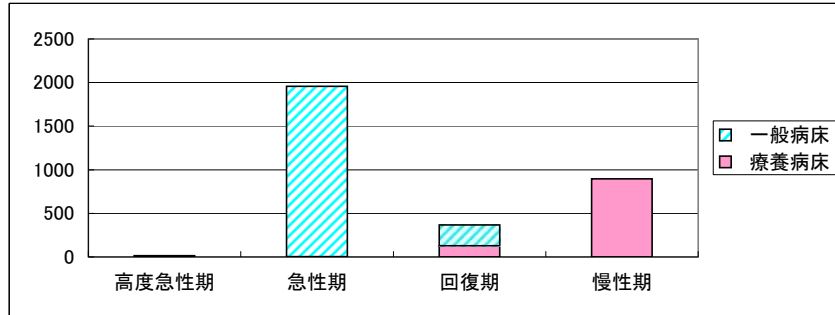
(注)集計対象6,099床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が58床分あり、上表には含めていない。

《2014年と2015年の比較》

- ・高度急性期の構成比が減少し、急性期、回復期、慢性期の構成比が増加した。
- ・静岡赤十字病院が、「2014年:高度急性期 417床」から「2015年:高度急性期 191床、急性期 226床」に変更(高度急性期 226床減、急性期 226床増)
- ・静岡済生会総合病院が、「2014年:高度急性期 523床」から「2015年:高度急性期 50床、急性期 456床」に変更(高度急性期 473床減、急性期 456床増)
- ・静岡市立清水病院が、「2014年:急性期 446床、回復期 44床」から「2015年:高度急性期 6床、急性期383床、回復期 77床」に変更(急性期 63床減、回復期 33床増、高度急性期 6床増)
※各機能における50床以上の変動がある病院を参考に記載
- ・2014年未反映であった富沢病院が、2015年は反映されている。(慢性期244床)

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（志太榛原医療圏）】

《2014(平成26)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

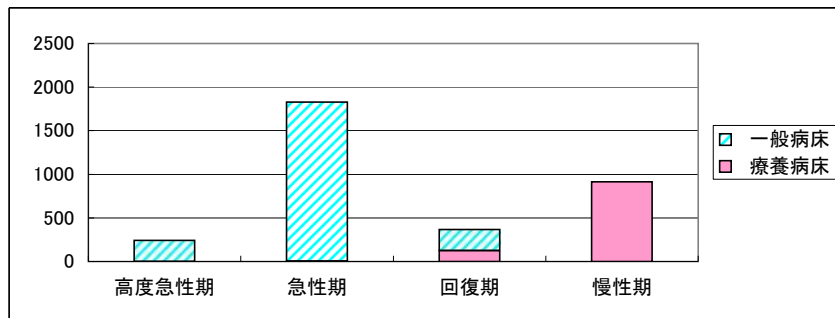


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	14	1,956	242	0	2,212
療養病床	0	0	124	894	1,018
合計	14	1,956	366	894	3,230
構成比	0.4%	60.6%	11.3%	27.7%	100.0%

(注)集計対象3,230床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	243	1,826	241	0	2,310
療養病床	0	3	125	913	1,041
合計	243	1,829	366	913	3,351
構成比	7.3%	54.6%	10.9%	27.2%	100.0%

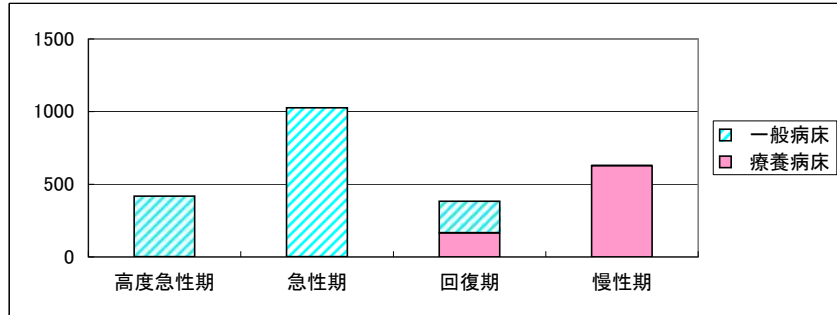
(注)集計対象3,351床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

〈2014年と2015年の比較〉

- ・急性期、回復期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期の構成比が増加した。
 - ・焼津市立総合病院が、「2014年:急性期 471床」から「2015年:高度急性期 37床、急性期 434床」に変更(急性期 37床減、高度急性期 37床増)
 - ・藤枝市立総合病院が、「2014年:高度急性期 14床、急性期 498床」から「2015年:高度急性期 206床、急性期 325床」に変更(急性期 173床減、高度急性期 192床増)
 - ・榛原総合病院が、「2014年:急性期 147床、慢性期 42床」から「2015年:急性期 197床、慢性期 42床」に変更(急性期 50床増)
- ※各機能における50床以上の変動がある病院を参考に記載
(志太榛原医療圏においては、増減理由に関わる30床以上の変動がある病院も参考に記載)

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（中東遠医療圏）】

《2014(平成26)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

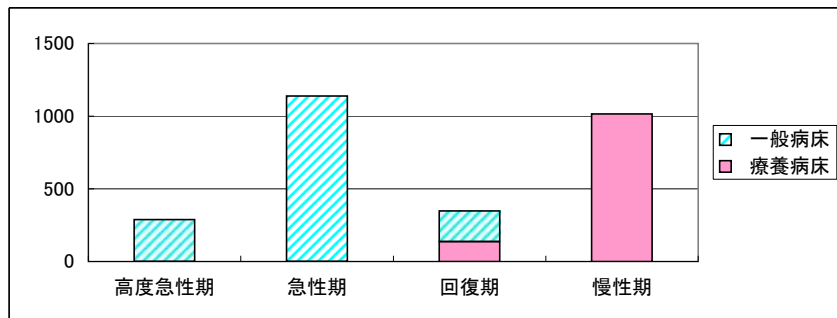


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	418	1,026	217	3	1,664
療養病床	0	0	166	628	794
合計	418	1,026	383	631	2,458
構成比	17.0%	41.7%	15.6%	25.7%	100.0%

(注)集計対象2,458床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	288	1,138	213	0	1,639
療養病床	0	0	136	1,016	1,152
合計	288	1,138	349	1,016	2,791
構成比	10.3%	40.8%	12.5%	36.4%	100.0%

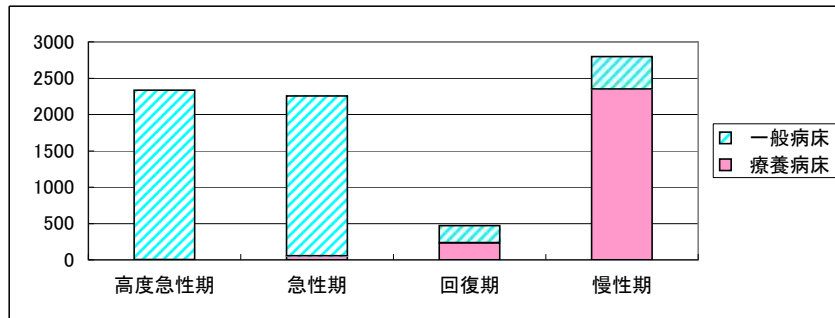
(注)集計対象2,791床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

〈2014年と2015年の比較〉

- ・高度急性期、急性期、回復期の構成比が減少し、慢性期の構成比が増加した。
- ・磐南中央病院が、「2014年:慢性期 100床」から「2015年:慢性期 50床」に変更(慢性期 50床減)
- ・豊田えいせい病院が、「2014年:慢性期 180床」から「2015年:回復期 60床、慢性期 120床」に変更(慢性期 60床減、回復期 60床増)
- ・中東遠総合医療センターが、「2014年:高度急性期 406床、急性期 90床」から「2015年:高度急性期 260床、急性期 234床」に変更(高度急性期 146床減、急性期 144床増)
- ・袋井市立聖隷袋井市民病院が、「2014年:回復期 50床」から「2015年:回復期 50床、慢性期 50床」に変更(慢性期 50床増)
- ※各機能における50床以上の変動がある病院を参考に記載
- ・掛川東病院(平成27年3月18日240床使用許可)が、2015年から追加となった。(回復期 30床、慢性期 68床)
- ・2014年未反映であった袋井みづかわ病院が、2015年は反映されている。(慢性期 260床)

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（西部医療圏）】

《2014(平成26)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

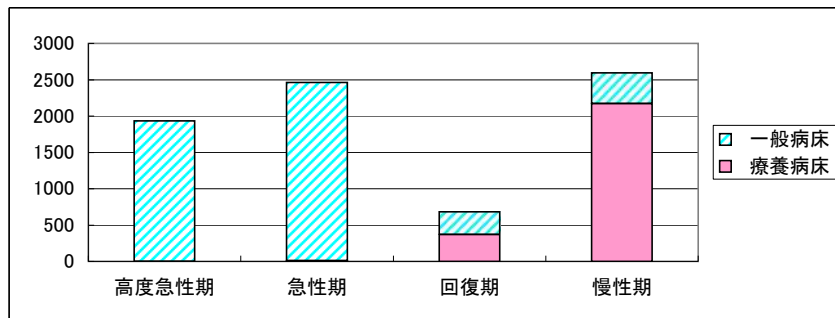


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	2,333	2,203	238	448	5,222
療養病床	0	54	235	2,349	2,638
合計	2,333	2,257	473	2,797	7,860
構成比	29.7%	28.7%	6.0%	35.6%	100.0%

(注)集計対象7,860床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,936	2,454	310	421	5,121
療養病床	0	8	372	2,173	2,553
合計	1,936	2,462	682	2,594	7,674
構成比	25.2%	32.1%	8.9%	33.8%	100.0%

(注)集計対象7,723床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が49床分あり、上表には含めていない。

〈2014年と2015年の比較〉

- ・高度急性期、慢性期の構成比が減少し、急性期、回復期の構成比が増加した。
 - ・遠州病院が、「2014年:高度急性期 340床、回復期 60床」から「2015年:高度急性期 236床、急性期 104床、回復期 60床」に変更(高度急性期 104床減、急性期 104床増)
 - ・聖隷浜松病院が、「2014年:高度急性期 744床」から「2015年:高度急性期 458床、急性期 286床」に変更(高度急性期 286床減、急性期 286床増)
 - ・浜松医療センターが、「2014年:高度急性期 42床、急性期 558床」から「2015年:高度急性期 253床、急性期 347床」に変更(急性期 211床減、高度急性期 211床増)
 - ・聖隷三方原病院が、「2014年:高度急性期 613床、急性期 27床、慢性期 170床」から「2015年:高度急性期 395床、急性期 245床、慢性期 170床」に変更(高度急性期 218床減、急性期 218床増)
 - ・北斗わかば病院が、「2014年:慢性期 142床」から「2015年:回復期 142床」に変更(慢性期 142床減、回復期 142床増)
- ※各機能における50床以上の変動がある病院を参考に記載
- ・平成27年4月30日、三澤病院(許可病床 療養35床)廃止(慢性期 35床減)